

令和3年第14回定例公安委員会会議録

開催日時 令和3年6月10日(木) 午前11時10分～午後2時50分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時10分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 服部警察本部長 川島警務部長 岡山首席監察官
前田生活安全部長 谷村刑事部長 柴田交通部長
加藤警備部長 青木警察学校長 濱口情報通信部長
水谷警務部参事官

(事務局等～山脇公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

警察職員等に対する援助要求(2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係)(警備部)

警察本部

東京都公安委員会より、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う諸対策に万全を期するため、援助の要求があった。

当県の派遣部隊は、都内の競技会場警戒や交通対策等に從事予定である。

委員

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、本県では、高齢者が接種中の段階である。派遣する全警察官に接種を行う予定はあるか。

警察本部

現時点ではない。

委員

帰県後の勤務については何か定めているか。

警察本部

派遣された者は、PCR検査を受けて帰県する。帰県後の待機日数は、状況に応じて対応する。

委員

組織として、引き続き職員の新型コロナウイルス感染症対策には最善を尽くしていただきたい。

委員

派遣される方には、しっかりと任務を完遂していただきたい。

4 報告事項

夏山遭難救助訓練の実施結果（生活安全部）

警察本部

県警察では、山岳遭難発生時に迅速に遭難者を救助するための救助知識・技能を錬磨し、関係者相互の連携を強化するため、大山山系において訓練を実施している。

例年は、山頂までの登山も含め1泊2日の日程で訓練を実施していたが、昨年からは新型コロナウイルス感染症対策のため1日とし、今回は、6月1日に大山元谷付近において実施した。参加者は、鳥取県警察大山遭難広域救助隊を編成する警察本部地域課、琴浦大山警察署などの警察官のほか、消防等にも参加していただき、遭難事案を想定し、119番通報から現場特定、電波信号を用いた遭難対策機器による搜索、負傷者の搬送、防災ヘリによる救助等を行った。参加者からは、「垣根を越えて訓練を行ったことは大いに意義がある。今後も連携し、いろいろな場面を想定して様々な訓練を積み重ねていきたい。」などの感想があった。

本年は、6月9日時点で14件の山岳遭難が発生しており、昨年同時期と比べて倍増している。本訓練の報道を通し、登山届の提出、十分な装備等の安全を優先した登山を呼び掛けた。引き続き、広報と訓練を実施していきたい。

委員

山岳救助は、関係機関との連携が重要なので、訓練を継続してそれぞれの役割を確認し、現場対応に備えていただきたい。

委員

事前に電波信号を用いた遭難対策機器を拝見したが、捜索時に有効だと思った。地道な訓練であるが、必要なことなので、引き続き、よろしく願います。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・夏山遭難救助訓練の実施結果
- ・警察職員等に対する援助要求（2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係）

4 報告事項

- ・公安委員会宛て苦情の受理
- ・監察報告

5 決裁

警察職員等に対する援助要求（2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係）

6 視察等

情報通信部による業務説明

7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。